

ショートコメント vol.371 (2025年7月10日)

テーマ：街角景気にみる大阪・関西万博の影響（25年6月）
～関西以外で影響が顕在化も、好影響ばかりではない～

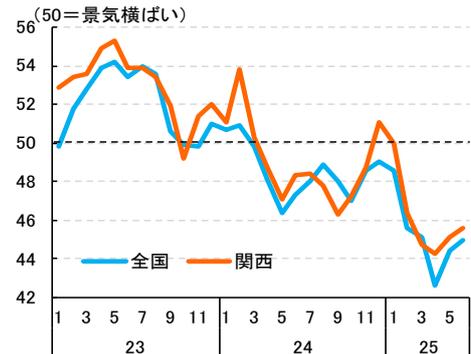
●街角景気の現状判断

25年6月の景気ウォッチャー調査の結果が発表され、現状判断DIは全国、関西ともに小幅の上昇となった（図表1）。今年は梅雨明けが異例の早さとなり、その後は好天が続いたことで各業種での客足の増加などにつながった。

ただ、全国的に上昇の動きは限定的で、特に米の価格を中心とした物価の上昇が需要の重しとなり、DIを押し下げる動きが続いている。関西でも万博による効果はあるものの、インバウンド消費の減速が目立つことで、現状判断の下押し圧力となっている。

これまで好調であったインバウンドの消費が減速した要因には、前年が特に好調であった反動が出ているのに加え、円高の進行による影響も指摘されている。今後の為替動向は米国の政策とも連動する中で、先行きの透明感は強いことから、先行きは楽観できない状況といえる。

【図表1】 景気ウォッチャー調査の現状判断DI



（出所）内閣府「景気ウォッチャー調査」、以下同じ

●万博による街角景気への影響

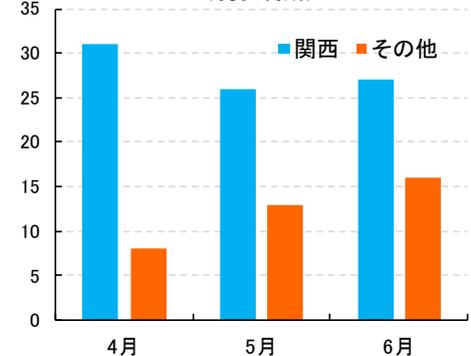
一方、関西の街角景気における万博の影響を改めてみてみたい。本調査では景気判断に加え、それに付随する定性コメントも聴取している。

その中で万博への言及状況をみると、現状判断での万博関連の総コメント数は全国で43件と、前月調査よりも4件の増加となった。関西の件数はほぼ前月と変わらず、その他の地域での増加が中心となっている（図表2）。

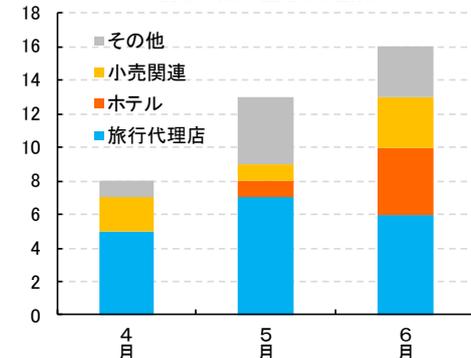
月を追うごとに、関西以外でのコメント数が増えている状況から、徐々に影響が広がっていると判断される。そこで業種別のコメント数をみると、関西ではホテル、百貨店、コンビニ、旅行代理店が中心であり、特に顔ぶれの変化はない。

注目されるのは関西以外の状況であり、前月までは旅行代理店が大半を占めていたが、今月はホテルや小売関連からも一定の声が挙がるなど、明らかに業種のバリエーションが増えている（図表3）。

【図表2】 万博関連の地域別コメント件数（現状判断）



【図表3】 関西以外での万博コメント件数（現状判断・主な業種別）



●地域別にみる影響の特徴

一方、業種ごとのコメントの多さが、好影響の大きさを示すわけではない。実際にコメントに付随した景気判断をみると、

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

業種別にかかなりのばらつきがみられる。

図表 4 で関西の状況を見ると、景気判断のうち『良い』、『やや良い』が多い業種は、主にホテルやコンビニ、タクシーなどとなっている。

一方、旅行代理店やレジャーに付された景気判断は『やや悪い』が中心となるなど芳しくなく、実際に「万博に需要を奪われている」といったニュアンスのコメントが多い。

それに対し、図表5は関西以外の状況であるが、注目されるのは、旅行代理店とホテルの違いであろう。旅行代理店は『やや良い』、『変わらない』が大半を占める一方、ホテルは『やや悪い』が多い。

関西以外から万博に出掛ける人が増えたことで、旅行代理店では万博関連の需要が増えている一方、ホテルは逆に万博に客を奪われる形となったことで、対照的な結果が生まれたとみられる。

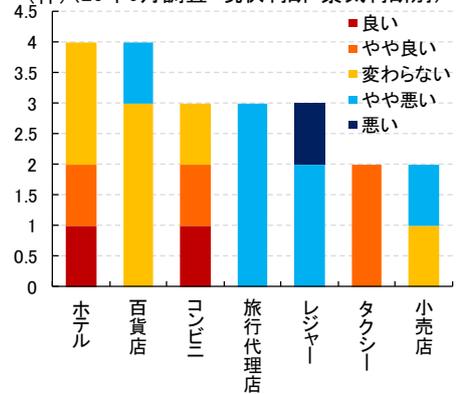
これまでは旅行代理店のプラスのみが目立っていたが、月を追うごとに遠方から万博に出掛ける動きが増えているのに伴い、こうした結果につながったといえよう。

●今後の注目点

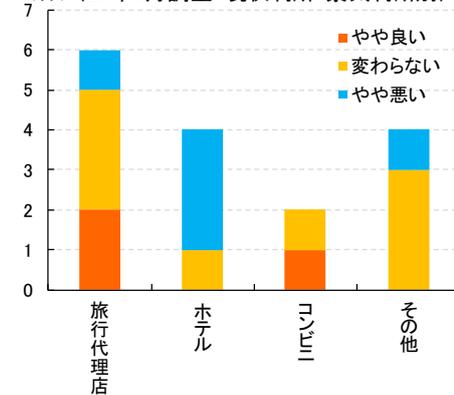
今後の注目点としては、これまでと同様、関西以外でいかに万博効果が顕在化するかであろう。6月調査において、ようやく旅行代理店以外でもコメントが増えてきたものの、今は悪影響が目立つのが現状である。

実際のところは、関西以外の地域にとって万博の人气が高まれば高まるほど、関西に客が流れるというジレンマを抱えているだけに、今後も楽観はしにくい。ただ、万博の観覧後に様々な地域を観光する動きが期待される中、インバウンドを中心にそうした動きがいつ顕在化するのかに注目したい。

【図表 4】 関西での業種別万博コメント件数 (件) (25年6月調査・現状判断・景気判断別)



【図表 5】 関西以外での業種別万博コメント件数 (件) (25年6月調査・現状判断・景気判断別)



本件照会先: 大阪本社 荒木秀之
TEL: 06-7668-8805 mail: hd-araki@rri.co.jp

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。